

2024年5月19日

「分かれた舌」

使徒言行録 2:1-11

早川 真牧師

この時、天から降った聖霊によって炎のような舌が現れ、分かれ分かれに弟子たち一人一人に与えられました。そのことによって、言語の違う多くの国の人々が神の偉大な出来事を聞くこととなりました。神様はかつて人間が悪を行うことを防ぐため、言葉を混乱させ、互いの言葉を聞き分けることができないようにされました。しかし神はこのペンテコステの出来事において、人々に聖霊を豊かに降し、彼らに新しい言葉を与えられました。それはこれまで自分の語ったことのない言語でした。

今の私たちにはこのようなことは起こらないと思われるかもしれませんが、しかし、今の私たちもまたこのペンテコステの出来事のように、外国の言葉を語っていると言えるのではないのでしょうか。礼拝の中で私たちが心からアーメンと告白する時、それは聖霊の力によって新しい言葉が与えられているのだと言えます。アーメンとは、旧約聖書の書かれた言語であるヘブライ語で、その通りです、真実ですと言う意味の言葉です。語られた神の偉大な業に対して心からそれは真実ですと告白する、それは、聖霊の働きがなければできないことです。ペンテコステは教会の誕生日と言われます。この日以来、教会は聖霊の力を受けて神の福音を世界中に宣べ伝える働きへと押し出されていきました。そして聖霊は人々の内に働いて新しい言葉、神の偉大な業を語るようにされました。私たちの言葉はしばしば一致ではなく分裂を、また平和ではなく混乱を生み出します。そのような私たちに、神は新しい舌、ご自分の舌を分け与え、一致と平和を与えてくださいました。この聖霊の力に押し出されて、私たちもまた、新しい言葉、偉大な神の業を語って歩んでまいりたいと思います。